

岡山商科大学孔子学院

中国経済・中国文化講座を開催

2022年1月8日、岡山商科大学孔子学院で中国経済・中国文化講座を開催した。今回講座に参加した人は岡山商科大学孔子学院の受講生（15人）と岡山商科大学附属高校の留学生（7人）である。岡山商科大学孔子学院の井尻理事長も今回の講座に出席した。



講座では安井事務局長が司会を務めた。安井事務局長は参加者に感謝の意を表し、講座の内容を簡単に紹介した。その後、井尻理事長より開会の挨拶をした。理事長は参加者の皆さんに新年の挨拶をした後、孔子学院が設立した15年間の発展を振り返った。また、今後の孔子学院の更なる発展を祈念した。



続いて、孔子学院副院長・大連外国語大学日本語学院教授李東輝より「中国都市部における高齢者施設入居者の生活意識と施設の課題――大連市での調査をもとに――」というテーマで、大連での調査データを日本のデータと比較しながら、中国高齢施設入居者の生活意識と高齢施設の課題について論じた。参加者からは「李先生の講座は非常に興味深く、中国の高齢化と福祉問題を知ることができました」という感想をいただいた。



続いて、中国文化講座に入り、孔子学院副院長韓雲冬より PPT を用いて「中国 24 式太極拳」について詳しく紹介した。その中で、岡山商科大学留学生郭子豪さんによる実演指導も行っていただいた。紹介した後、参加者たちは孔子学院の廊下に移動して、郭さんの動作をまねて、韓先生の説明を聞きながら、太極拳の練習をした。「体験の時間がもっと長ければよかった」という参加者の声が多かった。





最後に、孔子学院学院長黎晓妮が閉会の挨拶をした。参加者の皆さんに感謝の意を表した。また、コロナが一日早く終息して、今年できるだけ皆さんに多くの中国文化を体験できる機会を提供したいと念願の気持ちを表した。

文：李东辉

2022年1月11日